

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|-----------------|
| ○事業所名 | アイリスクラブ今林 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 11月 30日 | | ～ 2024年 12月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 | (回答者数) 17 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 11月 30日 | | ～ 2024年 12月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 異年齢での集団による関わり | チーム分けて活動を行うときに、知識や力量等、公平になるように配慮している。 | ・自分の意見を気軽に伝えられるように、スタッフとの信頼関係を築き、周囲のみんなとも信頼関係が築けるように橋渡しをする。 ・自分とは違う思いがあることに気付けるように、スタッフが仲介に入る。 |
| 2 | スタッフ間のコミュニケーション | 朝礼、終礼時や、会議等で、話し合う機会を設けている。 | 個人の専門性を高めつつ、より細かい支援内容の話し合いを行っていく。 |
| 3 | 一人ひとりの子どもの様子・見立て・アセスメントに繋がる発言が多い | 話し合いの機会を多くもつようにしたり、話し合うテーマを絞って短時間でも話し合えるように時間配分をしている。 | ・子どもたちの様子や、スタッフのニーズに合わせて必要な話し合いができるように、テーマを随時考えていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--------------------------------------|---|
| 1 | ほとんどのスタッフがアイリスクラブ今林に携わって1年未満である | 職員の入れ替わりが多く、情報共有が不足している。 | ・保護者様のニーズや子どもたちの思いなど、個人ファイルを隔々まで見たり、送迎時に聞きとったことを情報共有したりして、一貫した支援ができるようにする。 ・チーム支援の課題を整理し、自己研鑽をしたり、必要な研修に参加したりする。 |
| 2 | ・視覚支援が少ない ・個々に応じた細やかな支援が不十分である | ・視覚教材が少ない。 ・個々の様子に応じた取り組みが不十分である。 | ・子どもたちの様子に合わせて、視覚教材の購入、作成をする。 ・一人ひとりの特性や療育について、話し合いの時間を工夫する。 |
| 3 | ・専門職のスタッフがいない | ・専門職のスタッフが少なく、配置される人数にも限りがある。 | ・日々自己研鑽、社内・社外の研修に参加する等、一人ひとりの専門性を高める。 ・専門職のスタッフに声をかけて、質問事項などを共有し、一緒に考える機会をもつ。 |